

| 天位 | |
|---------------------------------|--------------|
| 石狩の鮭が鮭押す河口かな | (北広島市 水口 茂) |
| (注意) 弁天歴史公園通りに句碑を建立 | |
| 地位 | |
| 子が描きし絵の鮭はみな左向く | (東京都 野村 信廣) |
| 築見えて遡上の鮭の天へ跳ぶ | (北見市 笠井 操) |
| 鮭遡る河口は幅を広げ待つ | (小樽市 伊藤 玉枝) |
| 胴の間に千尾の鮭の踊り入る | (石狩市 南場 征哉) |
| 今朝獲れし鮭と目の合ふまつり市 | (石狩市 小泉 澄子) |
| 人位 | |
| 鮭遡る道は一本空けておく | (むかわ町 宮脇 木脩) |
| 鮭釣れて釣れて帰りに困りけり | (帯広市 久田 踏青) |
| 俎に鮭乗り姑呼ばれけり | (小清水町 久保 信和) |
| 末枯や風蕭条と無辜の像 | (小樽市 大場 ちさ) |
| 静寂に戻る日暮や鮭番屋 | (旭川市 金森 鯉童) |
| 鮭捌く浜のかあちゃん腕太し | (登別市 工藤 信樹) |
| 神酒添えてある仮寝の鮭番屋 | (寿都町 原田た江子) |
| 石狩の川ごと鮭の網を曳く | (福島町 藪内 峡泉) |
| 鮭捌く夫の庖丁遺さるる | (登別市 大澤 隆子) |
| 嫁ぐ娘へ母のレシピの鮭料理 | (札幌市 長瀬 春枝) |
| 時化三日続く番屋の夏炉焚く | (北見市 花木 研二) |
| 初漁の鮭ぶら下げて漁師来る | (浜頓別町 中場 源司) |
| サーモンとハイカラの名で鮭並ぶ | (東京都 伊澤 朝子) |
| 上る鮭激流へ口突き出せり | (東京都 大久保 昇) |
| 豊漁の鮭を全戸に配りけり | (稚内市 藤林 正則) |
| 佳作 | |
| 鮭一尾捌き今宵は銅奉行 | (小樽市 村上 千代) |
| やん衆を語る一湾夏かすみ | (小樽市 松本 光世) |
| 野焼跡くすぶり続く子供靴 | (釧路市 高杉杜詩花) |
| 鮭まつり遡上の如く人の群 | (函館市 三ツ谷重次) |
| 跣の子石狩浜を遊び場に | (登別市 工藤 信樹) |
| 銀シャリに鮭の想ひ出戦中派 | (せたな町 笹森 君子) |
| 大鮭を胸にかかへて浜乙女 | (札幌市 仁和 亮) |
| 鮭遡る川を日輪かがやかす | (洞爺湖町 矢野 知子) |
| 乾鮭の相打ちひびく宿の裏 | (北広島市 水口 茂) |
| 山々の彩引き連れて鮭還る | (札幌市 和田 伯遊) |
| ほっちゃんれ鮭母なる川に抱かれて | (木古内町 加藤 幸治) |
| 鮭漁の母なる川の生臭し | (名寄市 竹澤 純子) |
| 鮭が鮭押して川巾狭めをり | (帯広市 杉山 ふじ) |
| 来し方も行方も染まる新樹光 | (帯広市 杉山 ふじ) |
| 鮭打ちの棒を祓いて漁初め | (札幌市 長瀬 春枝) |
| はららご(魚へんに而)の醤油漬には白き飯 | (石狩市 野原 香雪) |
| 一湾の潮動きゆく鮭の海 | (羅臼町 竹内 日奈) |
| 鮭を呼ぶ石狩川も海のいろ | (札幌市 柴田 襄子) |
| 鮭網の漁夫の声まで脂ぎる | (北見市 田中美津子) |
| 時鮭を誉め合ひながら夕餉かな | (せたな町 用名 ハル) |
| 【選者】 | |
| 小西 龍馬 氏 (北海道俳句協会会長 北海道ホトトギス会会長) | |
| 松倉 ゆずる 氏 (俳誌アカシヤ主宰) | |